

Ⅱ 調査結果の概要

1. 防災対策について

問2. あなたは地域の避難所を知っていますか。

「知っている」が86.2%、「知らない」が12.9%となっている。

問3. 地域、職場等での防災訓練に参加していますか。

「どちらも参加していない」が49.8%と最も高く、ついで「地域での防災訓練に参加している」が23.6%、「職場等での防災訓練に参加している」が21.4%となっている。

問4. 非常用備蓄品を準備していますか。

「準備していない」が50.4%、「準備している」が49.2%となっている。

問5. ご自宅の家具を固定していますか。

「固定していない」が67.4%、「固定している」が32.2%となっている。

2. 交通安全対策について

問6. 松阪市は他自治体に比べて交通事故が多いことを知っていますか。

「よく知っている」が56.0%と最も高く、ついで「少し知っている」が27.3%、「あまり知らない」が12.1%となっている。

問7. 松阪市で運転をするドライバーの交通ルールの遵守やマナーなど、最近良くなっていると感じたことがありますか。

「変わらない」が73.0%と最も高く、ついで「悪くなっている」が18.8%、「良くなっている」が5.2%となっている。

問8. 松阪市で交通事故が多い原因は何だと思いますか。

「ドライバーが交通ルールやマナーを守らない」が74.5%と最も高く、ついで「歩行者や自転車運転者が交通ルールやマナーを守らない」が56.2%、「道幅が狭い道路が多い」が35.9%となっている。

問9. 交通事故を減らすためには、どのような活動が必要だと思いますか。

「路面標示の塗り直し」が40.7%と最も高く、ついで「交通取締の強化」が37.3%、「カーブミラーの増設」が36.6%となっている。

問10. あなたは自転車に乗りますか。

「全く乗らない」が57.8%と最も高く、ついで「週1回以下しか乗らない」が21.0%、「ほぼ毎日乗る」が11.1%となっている。

問 11. あなたは現在自転車保険に加入していますか。

「加入していない」が 56.7%、「加入している」が 39.7%となっている。

問 11-1. 自転車保険に加入している方は保険の種類もお選びください。

「民間保険会社の保険」が 35.9%と最も高く、ついで「TSマーク付帯保険」が 28.6%、「自動車保険のオプションに加入」が 24.3%となっている。

問 12. 自転車保険への加入を促進するためには、どのような施策が必要だと思いますか。

「加入の義務化」が 53.8%と最も高く、ついで「加入に対する県や市の補助」が 35.0%、「自転車保険の重要性に関する啓発」が 34.5%となっている。

問 13. 運転免許証自主返納制度を知っていますか。

「知っている」が 96.5%、「知らない」が 3.5%となっている。

問 14. あなた（又はそのご家族の方）は将来的に自主返納するつもりはありますか。

「身体的な衰えにより運転に自信が無くなれば返納するつもりである」が 74.5%と最も高く、ついで「返納者への支援対策等が整備されれば返納するつもりである」が 30.5%、「家庭の事情等で運転する必要が無くなれば返納するつもりである」が 29.6%となっている。

問 15. 返納者に対してどのような支援対策が必要だと思いますか。

「公共交通機関（タクシーを含む）の運賃割引」が 71.8%と最も高く、ついで「バスの運行範囲拡大」が 49.6%、「公共交通機関の増発」が 39.4%となっている。

3. 振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺について

問 16. 松阪市では、振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺が増えています。特殊詐欺についてどう考えていますか。

「少し心配はしている」が 47.6%と最も高く、ついで「いつ被害にあうか、とても心配だ」が 18.1%、「それほど気にしていない」が 17.4%となっている。

問 17. 特殊詐欺の情報はどこで知りますか。

「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット」が 96.5%と最も高く、ついで「広報・回覧板」が 24.7%、「家族・知人」が 12.7%となっている。

問 18. 詐欺の疑いのある電話やハガキなどが来たことがありますか。

「ある」が 52.2%、「ない」が 46.4%となっている。

問 19. 特殊詐欺で犯人が使う言葉で知っているものはどれですか。

「会社の金を使い込んだ」が 69.2%と最も高く、ついで「金を代理人が取りに行く」が 68.9%、「このままでは裁判になる」が 64.7%となっている。

問 20. 被害にあわないために気をつけていることはありますか。

「すぐに家族や知人に相談」が 51.5%と最も高く、ついで「特に何もしていない」が 33.9%、「留守番電話に設定している」が 20.7%となっている。

問 21. 被害にあわないようにするには、今後どうすれば良いと思いますか。

「自分だけは大丈夫」という思い込みを捨てる」が 61.0%と最も高く、ついで「知らない番号からの電話に出ない（ナンバーディスプレイの電話に替える）」が 53.6%、「家族や知人と常に連絡を取り合う」が 51.0%となっている。

4. 医療提供体制について

問 22. 松阪市内には 3 総合病院（松阪中央総合病院、済生会松阪総合病院、松阪市民病院）があります。これらの病院は原則として、休日・夜間に救急車での搬送を必要とする重症の方や、精密な検査などが必要でかかりつけ医等の紹介状を持った方しか受診することができないことを知っていますか。

「よく知っている」が 43.1%と最も高く、ついで「ある程度知っている」が 33.7%、「知らない」が 11.8%となっている。

問 23. 国の医療行政では、ひとつの病院の中だけで完結する「病院完結型医療」ではなく、地域全体で医療から介護までを完結させて提供する「地域完結型医療」が方針とされていることを知っていますか。

「知らない」が 54.1%と最も高く、ついで「ある程度知っている」が 20.6%、「聞いたことはある」が 15.7%となっている。

問 24. いわゆる団塊の世代が 75 歳以上を迎える 2025 年を視野に、地域にふさわしいバランスの取れた医療機能の分化・連携を適切に推進するため、平成 29 年 3 月に三重県が『三重県地域医療構想』を策定したことを知っていますか。

「知らない」が 76.6%と最も高く、ついで「聞いたことはある」が 12.2%、「ある程度知っている」が 7.5%となっている。

問 25. 松阪市民病院の会計について、一定の経費（毎年度約 9 億円）を市が負担していることを知っていますか。

「知らない」が 58.5%と最も高く、ついで「ある程度知っている」が 18.8%、「聞いたことはある」が 14.5%となっている。

5. COPD(慢性閉塞性肺疾患)に係る認知度について

問 26. あなたは COPD（慢性閉塞性肺疾患）という病気を知っていますか。

「知らない」が 47.4%と最も高く、ついで「聞いたことがあるが、内容までは知らない」が 33.7%、「どんな病気か知っている」が 18.1%となっている。

6. 市運営コミュニティバスの運営形態について

問 27. 松阪市運営バスの運行経費は、運賃と公費に加え、その他の財源として、企業や沿線地域等の住民の協賛金でまかなわれているのを知っていますか。

「知らない」が 57.0%、「知っている」が 42.3%となっている。

問 28. 松阪市運営バスは、上記のように、協賛金をいただいているコミュニティバスは 100 円ないし 200 円の運賃で、廃止代替バスは三重交通の運賃形態と同様のもので運営しています。どの運営形態が望ましいと思いますか。

「企業協賛型コミュニティバス（企業協賛金と運賃 100 円）」が 44.5%と最も高く、ついで「地域協賛型コミュニティバス（地域協賛金と運賃 100～200 円）」が 36.0%、「廃止代替バス（協賛金制度はなく三重交道路線バスと同じ運賃）」が 11.8%となっている。

問 29. 昨年度の「市民意識調査（3000 人アンケート）」で、バスを利用する運賃として最も回答が多かった運賃の金額は、「200 円まで」でした。運賃 100 円のコミュニティバスについて、あなたの運賃に対する考え方に最も近いのは、次のうちどれですか。

「200 円になってもやむをえない」が 64.0%と最も高く、ついで「100 円のままにするべき」が 23.0%、「300 円以上でも構わない」が 8.5%となっている。

問 30. 松阪市のコミュニティ交通を、きめ細かいニーズに対応できるものとしていくには、どうしていくべきだと思いますか。

「地域ごとに独自の取組を検討していく」が 43.2%と最も高く、ついで「デマンド型交通の導入を検討する」が 22.3%、「タクシーの利用を推進する」が 17.8%となっている。

7. 「松阪市手と手でハートをつなぐ手話条例」について

問 31. 「松阪市手と手でハートをつなぐ手話条例」を知っていますか。

「知らない」が 71.9%と最も高く、ついで「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が 21.4%、「知っている」が 5.6%となっている。

問 32. 手話に接したり、見聞きした経験はありますか。

「ない」が 55.6%、「ある」が 43.2%となっている。

問 33. 手話に関する取組について参加したいと思うものを選んでください。

「手話研修会など手話を学べる場」が 40.9%と最も高く、ついで「手話の普及啓発イベント」が 24.8%、「手話に関する講演会」が 22.7%となっている。

8. ごみの減量に効果的な取組みについて

問 34. あなたは、普段の生活の中で、何か燃えるごみを減らす取組や工夫をしていますか。

「ときどきしている」が 35.4%と最も高く、ついで「とてもよくしている」が 24.6%、「あまりしていない」が 22.9%となっている。

問 35. あなたは、普段、燃えるごみを減らすために、主にどのようなことに取り組んでいますか。また、特に取り組んでいない方は、どんな取組なら実行できそうですか。

「資源物（プラスチック容器・袋）は燃えるごみとせず、分別をして出すことを徹底する」が 52.2%と最も高く、ついで「資源物（紙類）は燃えるごみとせず、分別をして出すことを徹底する」が 15.0%、「生ごみを出すとき、なるべく水分を切って出す」が 12.3%となっている。

問 36. あなたは、普段、紙類（新聞紙、ダンボール、雑誌・雑紙）を主にどこに出していますか。

「地域の指定された集積所に出している」が 35.8%と最も高く、ついで「よく行くスーパーなどの店頭回収、民間業者が設置した資源物コンテナ回収等を利用している」が 26.1%、「地域の資源物集団回収の際に出している」が 24.6%となっている。

9. 観光施策について

問 37. あなたは、松阪市を観光地だと思いますか。

「どちらかといえば観光地ではない」が 33.7%と最も高く、ついで「観光地ではない」が 23.9%、「どちらかといえば観光地である」が 22.5%となっている。

問 38. あなたが旅行に行くとき、何を重視して行き先を決めますか。

「周辺に周遊できる観光スポットが多い」が 28.1%と最も高く、ついで「温泉を楽しめる」が 15.8%、「歴史・文化を楽しめる」が 12.6%となっている。

問 39. もし、あなたが観光客などから松阪市のことをたずねられた場合、松阪牛（松阪肉）を除き、何を紹介（自慢）しますか。

「郷土の偉人を生み出した文化など」が 36.1%と最も高く、ついで「史跡、歴史的建造物、名勝、天然記念物などの文化財」が 34.2%、「特にない」が 24.7%となっている。

11. フルマラソンの開催について

問 42. 松阪のマラソンで走りたい（走ってほしい）と思うコースは、どのような場所だと思いますか。

「松坂城跡周辺や旧伊勢街道など歴史・文化を感じる場所」が 54.9%と最も高く、ついで「橿田川周辺や松名瀬海岸などの自然を感じる場所」が 28.4%、「松阪駅周辺など市の中心地」が 6.4%となっている。

問 43. 各地のマラソンでは、ランナーに飲料水や軽食を提供する場所やフィニッシュ会場において各地の特産物や名物が提供されています。松阪のマラソンでランナーに提供するとすれば何が喜ばれると思いますか。

「イチゴなどのフルーツ」が 30.8%と最も高く、ついで「松阪茶」が 29.8%、「松阪肉」が 28.6%となっている。

問 44. フルマラソンをとおしてどのように松阪らしさを PR したら良いと思いますか。

「松阪の特産物を取り入れた大会にする」が 34.1%と最も高く、ついで「松阪の歴史・文化を取り入れた大会にする」が 33.3%、「松阪の自然を取り入れた大会にする」が 25.2%となっている。

問 45. フルマラソンの開催には多くのボランティアスタッフの活躍が不可欠です。フルマラソンの開催においてボランティアとして参加しようと思いますか。

「思わない」が 76.5%、「思う」が 19.8%となっている。

問 46. 各地のマラソンではコース沿道で住民や企業の方々が趣向を凝らし、応援が行われ大会を盛り上げています。個人やグループなどを問わず、コース沿道での応援に参加しようと思いますか。

「思わない」が 52.8%、「思う」が 44.4%となっている。

12. 住民協議会について

問 47. 住民協議会を知っていますか。

「知っている」が 38.5%と最も高く、ついで「知らない」が 35.8%、「聞いたことはある」が 24.6%となっている。

問 48. 住民協議会が主催する行事に参加されたことがありますか。

「ない」が 74.2%、「ある」が 23.6%となっている。

問 49. 現在、住民協議会と自治会について、その役割分担や違いがわかりにくいというご意見があります。そこで市として地域の独自性や自由度を広げるという観点から、これらを含めた地域組織の一本化を提案しています。

地域組織を一本化することについて、どう思いますか。

「どちらとも言えない」が 49.3%と最も高く、ついで「良いと思う」が 41.9%、「良くないと思う」が 5.8%となっている。

問 50. 現在、市のいろいろな部局からいろいろな団体（住民協議会、自治会など）を通じて地域へお渡ししているお金が合わせて2億4千万円ほどあり、市では今後この地域予算を受け入れていただく地域の窓口を集約したいと考えています。

窓口を集約することで、地域予算の流れがわかりやすくなりますが、受け取る側にとっては、地域予算の流れがそれまでとは変わってしまうこととなります。

地域予算の受け入れ窓口を集約して地域にお渡しすることをどう思いますか。

「どちらとも言えない」が 40.6%と最も高く、ついで「窓口を集約して交付するのが良い」が 40.1%、「これまでのように別々に交付するのが良い」が 15.7%となっている。

問 51. 各地域において地域づくりを進めていただくうえで、地区市民センターや各地区公民館はその拠点となる施設です。現在は市が管理・運営をしていますが、将来的には管理・運営を地域にお任せ（委託）し、市職員を行政と地域との連携を保つための調整役として配置することで、より自由度の高い拠点施設として地域づくりに活用していただくと考えています。

地区市民センターや各地区公民館の管理・運営を地域にお任せ（委託）することについて、どのように思いますか。

「どちらとも言えない」が 43.3%と最も高く、ついで「良いと思う」が 38.6%、「良くないと思う」が 14.8%となっている。

13. 市の窓口の最適配置について

問 52. 本庁以外の市の窓口（支所、出張所）は、どのようなところへ配置すべきであると思いますか。

「本庁、支所までの交通の便が悪いところ」が 49.1%と最も高く、ついで「本庁、支所までの距離が遠いところ」が 44.9%、「駅や商業店舗等、多くの人が集まる場所」が 27.8%となっている。

問 53. 居住人数等の観点から、本庁以外の市の窓口（支所、出張所）は、どのような場所に（何ヶ所程度）必要であると思いますか。

「中学校区の単位程度ごとに1ヶ所ずつ（10ヶ所程度）必要」が 37.5%と最も高く、ついで「旧町（地域振興局）単位程度ごとに1ヶ所ずつ（4ヶ所程度）必要」が 35.5%、「小学校区の単位程度ごとに1ヶ所ずつ（40ヶ所程度）必要」が 17.9%となっている。

問 54. 松阪市は、東西約 50km、南北約 37km に広がっており、面積が三重県内で 2 番目に大きい市であることから、市の窓口の配置にあたっては、窓口までの距離についても考慮する必要があります。

距離の観点から、本庁以外の市の窓口（支所、出張所）は、自宅や職場等からどのような距離までであれば不便を感じることなく手続きできると思いますか。

「5km 程度(自動車で 10 分程度)まで」が 39.8%と最も高く、ついで「10km 程度(自動車
で 20 分程度)まで」が 25.7%、「2km 程度(徒歩で 20 分程度)まで」が 23.6%となっている。

問 55. 「支所、出張所に必要」と思う業務はどれですか。

「証明書取得に関すること」が 71.3%と最も高く、ついで「届出に関すること」が 57.3%、
「保健、福祉に関すること」が 21.0%となっている。

問 56. 平成 30 年 2 月より、「戸籍謄本」、「住民票」、「印鑑登録証明書」、「所得証明書」などの証明書は、全国のコンビニで、マイナンバーカードを利用し、設置された自動交付機等を自分で操作することにより、市の窓口と同料金で、市役所の閉庁時間でも取得できるようになりました。(取得可能時間は証明書により異なります。) これからの証明書の取得について、あなたの考えをお聞かせください。

「コンビニ等で、自分で自動交付機等を操作して取得したい」が 46.7%と最も高く、ついで「市の窓口で、職員等に申請して取得したい」が 46.4%となっている。

問 57. 中山間地域等、交通の便が悪い地域等には、出張所を設置していますが、利用状況や運営費用等をふまえ、より利用しやすいサービスとして、現在の出張所に代わる新たなサービスも検討していく必要があります。どのようなサービスがあると良いと思いますか。

「地域に自動交付機等を設置するサービス」が 43.1%と最も高く、ついで「自宅でパソコンや携帯電話からインターネット等を使ってできるサービス」が 42.4%、「自宅に市の職員が訪問するサービス」が 25.8%となっている。

14. 松阪駅西地区の複合施設について

問 58. 松阪駅西地区に複合施設を計画していますが、下記の施設、機能についての重要度に関して、あなたのお考えに近いものをそれぞれ 1 つずつ選んで○をつけてください。

重要度（「重要」「やや重要」の合計）が高いものとして、「駐車場・駐輪場」が 65.7%、「飲食店」が 59.5%、「商業施設」が 53.2%となっている。

問 59. 複合施設ができた後、利用するとした場合の交通手段は何ですか。

「自家用車」が 79.6%と最も高く、ついで「バス」が 25.9%、「電車」が 21.7%となっている。

問 60. 複合施設にはどのようなことに配慮が必要だと思いますか。

「駐車場の確保・整備」が 48.8%と最も高く、ついで「駅から直接いける」が 22.3%、「公共交通の利便性の向上」が 10.2%となっている。

15. 市施設における使用料等の見直しについて

問 62. 市施設の使用料は同種の民間施設と比較してどのようにあるべきだと思いますか。

「民間施設より安くあるべき」が 67.0%と最も高く、ついで「民間施設と同額程度であるべき」が 19.0%、「わからない」が 9.5%となっている。

問 63. 市施設の維持管理や運営には費用がかかります。この費用は何によってまかなわれるべきだと思いますか。

「利用者（使用料）がほとんど（7～9割）を負担し、税金で一部（1～3割）を負担する」が 31.4%と最も高く、ついで「利用者（使用料）が半分（5割）を負担し、税金で半分（5割）を負担する」が 26.9%、「利用者（使用料）が全てを負担し税金では負担しない」が 14.3%となっている。

問 64. それぞれの市施設は、設置経過や目的、建築年度、規模、構造、立地条件等が異なります。市施設の使用料を設定する際に基になる考え方は、どのようにするべきだと思いますか。

「集会施設、会議室、テニスコートなど同じ種類の施設は使用料の決め方を統一するべき」では、そう思う（「そう思う」「ややそう思う」の合計）が 53.5%となっている。

「すべての施設の使用料の決め方を統一するべき」では、そう思うが 43.1%となっている。

問 65. 市の施設は、利用目的や利用者の状況等によって、通常より安価または無料で使用できるようになる減免制度がありますが、その考え方となる使用料の減額や免除の基準が異なっており、同じ種類の施設でも統一されていません。施設の使用料の減額や免除の基準を設定する際に基になる考え方は、どのようにするべきだと思いますか。

「同じ種類の施設は考え方を統一するべき」が 38.7%と最も高く、ついで「全市的に考え方を統一するべき」が 23.4%、「現状のままで良い（それぞれの施設で考えて設定するべき）」が 17.2%となっている。

問 66. 市施設の使用料を設定する際に考慮すべきと思われることは何ですか。

「平日と休日、日中と夜間等、料金設定の区別」が 35.4%と最も高く、ついで「営業（営利）目的、公共目的等の区別」が 34.3%、「市内や近隣の類似（同種）の民間施設の料金」が 32.8%となっている。

16. 広報全般について

問 67. 松阪市の情報を主にどのような方法で得ていますか。

「広報まつさか」が 75.5%と最も高く、ついで「自治会などの回覧」が 45.3%、「新聞」が 25.7%となっている。

問 68. 広報まつさかを読んでいますか。

「毎月読んでいる」が 35.0%と最も高く、ついで「時々読む」が 24.4%、「大体読んでいる」が 23.6%となっている。

問 69. 広報まつさかでよく読む記事を次のうちから選んでください。

「イベント・講座案内」が 49.0%と最も高く、ついで「まちのできごと」が 43.5%、「特集」が 41.0%となっている。

問 70. 松阪市ホームページを利用していますか。

「必要なとき」が 47.1%と最も高く、ついで「見たことがない」が 42.6%、「月 1 回以上」が 2.8%となっている。

問 71. 行政チャンネル（123ch）をご覧になったことはありますか。

「見たことがない」が 61.8%と最も高く、ついで「必要なとき」が 25.4%となっている。

問 72. ご覧になった番組をお聞かせください。

「アイウエーブまつさか（行政情報・地域情報など）」が 79.7%と最も高く、ついで「特集（松阪歴史探訪、いきいき健康情報など）」が 30.9%、「市議会放送」が 15.1%となっている。